

# ミツバチの一枚画コンクールが 学びに活かされています

ミツバチが教えてくれる大切なことや、当コンクールを子供たちの学びや喜びにつなげていただいている例を紹介します。

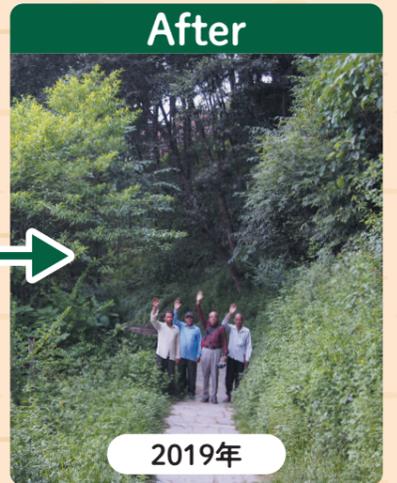
作品の  
応募が

## 木づくり 木木 につながる



「ミツバチの一枚画コンクール」では、**応募作品1点につき1本の植樹**を行っており、昨年は第8回の応募作品と同数の16,550本を植樹しました。過去に植樹した場所では森が蘇っています。

養蜂業を原点とする山田養蜂場は、「自然との調和」を理念に掲げており、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡そうと、1999年より国内外で植樹活動を続けています。これまでの植樹総本数は約220万本になります。



植樹地：ネパールの様子

## 応募者の声

幼稚園の先生より

身近な昆虫がテーマだと、  
周りの風景にも目を向けられる

絵画コンクールは他にも沢山ありますが、中にはテーマが難しかったり、幼稚園では重かったりするものもあります。その点、ミツバチは、子供たちが公園で目にすることが多く、身近に感じられます。

**ミツバチを描くことによって、その周辺の風景を描くことができる点が良いところですね。**



小学校の先生より

ミツバチと自然環境のつながりを知り、  
理科の単元への理解も深まっています

このコンクールの目的である「命」や「社会性」、「協力しあって生きること」の大切さを、子供たちに考えてもらいたいと思い、毎年参加しています。例えば、足に花粉団子をつけているミツバチから、植物の受粉の仕組みを知ります。普段見慣れている草花の命をつないでいるのがミツバチだということを理解し、**ミツバチは植物と共生し、小さな体でも大きな役割を持っている**ということを学んだことで、絵を描かされている感がなくなります。2年生の生活科、3年生の理科で昆虫の生態を学ぶ単元があり、このコンクールへの参加で、その単元の理解にもつなげています。



応募者(小学生の部)より

ミツバチは、植物や人間にとって貴重な存在だと知りました

ミツバチに対して、今までは「危ない」とか「怖い」というイメージがありました。しかし、絵を描くために本や動画を見て、認識が違っていたと気づきました。今では、**ミツバチが植物にとって、また、人間にとっても欠かせない役割を持つ、貴重な存在だと思っています。**

中学校の先生より

環境問題についての学びに役立っています

生き物がモチーフだと生徒が積極的に描いてくれるので、このコンクールに参加しています。「**ミツバチが生きやすい環境**」について考えることで「**環境問題**」について学べます。また、普段は知り得ない「ミツバチの生態」などにも視線を向けられるところが良い点だと思います。

## ミツバチが教えてくれる大切なこと

ミツバチは家族で  
支え合っている



ひとつの巣箱には女王バチ、働きバチ、オスバチがいて、それぞれがもつ大切な役目を一生懸命に果たしながら、助け合って「家族」で暮らしています。

みんなは  
一人のために



ミツバチは一匹一匹が様々な役割を担いながら共に生きている社会性の昆虫です。それは私たち人間も同じ。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の奉仕の気持ちをミツバチは教えてくれます。

ミツバチからの  
貴重な恵み、命の重み



一匹のミツバチが花畑を飛び回り、一生かかって集められるはちみつは、スプーン一杯分にもなりません。はちみつには、ミツバチ一匹の命の重さが詰まっています。

ミツバチについて学べる様々なクイズをHPでご紹介しています

## マルバツ ミツバチ O X クイズ

正しいと思ったら○、間違いだと×をつけてみましょう!

働きバチは餌の豊富な春は冬の間よりも長生きし、新しく生まれたハチを協力しながら育てている

ミツバチは、仲間に蜜が採れる植物の場所を教えるために巣箱の前でダンスを踊る

**正解はHPでチェック!**

コンクールウェブサイトから  
アクセスできます。  一枚画コンクール



簡単アクセス

## コンクールに応募されるみなさまへ

応募者全員に参加賞を差し上げます。

## 団体奨励賞について

コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には児童書のセット、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。

もっとミツバチについて学ぼう!  
「みつばち広場」へ  
<http://honey.3838.com>

